

令和6年度 新潟大学 経済科学部

総合問題

学校推薦型選抜
試験問題

解答例

〔Ⅰ〕

設問1

ユダヤ・キリスト・イスラムの三教徒共通の聖典である旧約聖書は、同胞間での利子の授受を禁止している一方、異教徒から利子を取ることは許容している。したがって、中世の地中海世界を二分していたキリスト教世界とイスラム教世界のどちらにおいても、両者からみて異教徒であるユダヤ教徒であれば、キリスト教徒あるいはイスラム教徒という多数を相手に、金融業として貨幣を貸し付けて利子を得る営みが許されることになるため。(199字)

設問2

カトリック教会の利子論では、「利子とは神の与えてくれた時間を盗むものであるため、罪である」とされている。他方で、マルクス主義では、利子や配当として資本に報酬を支払うことは、富の増加のために投入された労働の成果をだまし取る行為だと批判する。この点、「労働」という語を、「額に汗した人々の時間」と読み替えれば、カトリック教会の考え方およびマルクス主義の考え方ともに、被害者を「神」とするか、「人」とするかの違いはあるが、時間を盗む行為を罪や批判の対象としている点は同じであるということ。(241字)

設問3

「貸付と引き換えに、貸し付けられた財自体を超過して要求されるいっさい」をウスリアと呼び、そのウスリアを否定する一方で、将来に起こるかもしれない貸し倒れ損失相当分を穴埋めするために、借り手に対してあらかじめ対価を求めておくことは「時間を盗む」ことには当たらず、したがって禁止されていないという利子解釈。(150字)

[II]

設問 1

教育とは知識を詰め込むことであり，その成果は，生徒の読み書き計算のテストの点数によって測定できるとみなす，教育の役割を過度に単純化した考え方。（71 字）

設問 2

生徒の試験の点数を学校の予算と結びつけると，貧困層が多い学校の資金が減り，下層階級の上昇を困難にさせるように，測定基準と報酬の結びつきのせいで重要な貢献が見過ごされることによる社会への悪影響のこと。（99 字）

設問 3

ベトナム戦争の勝利を目指す米軍において用いられた「死者数」という測定基準が敵の意思に対する打撃につながるものでなく現場の司令官には支持されていなかったように，定量化不可能な目標の達成を目指す際には，測定可能な基準を報酬に結びつけることは無意味なばかりか，そのことによって人々は定量化されない重要な側面を理解しなくなるという弊害をもたらすから。（171 字）